

平成 22 年度(2010 年度) 高校生対象 **夏季公開講座** 受講案内

- ◆対象：県内高等学校の 2 年生または 3 年生で、原則として全日程の受講を希望するもの(各コース 60 人)
- ◆受講料：無料
- ◆会場：山口県立大学 看護キャンパス 6号館 F 2 0 4 教室他
- ◆問合せ・申込先：山口県立大学・三大学連携推進オフィス  
TEL&FAX 083-928-5466 (〒753-8502 山口市桜畠 3-2-1)
- ◆昼食は食堂のランチ(400 円)を利用することができます。事前に申し込んでください。受付で食券を販売します。
- ◆申込方法：受講申込書に記入して郵送または FAX でお送りください。また、ホームページからも申込ができます。

◇プログラム		国際文化コース A 3 2 教室 柔軟なこころと確かな方法	社会福祉コース D 1 4 教室 「障がい」があっても「障がい」のない社会へ向けて —障がい者の視点から私たちの社会を再点検しよう—	看護栄養コース D 1 5 教室 健康なからだづくりについて考えよう
8 月 9 日 (月)	10:00	開講式(看護キャンパス 6号館 F 2 0 4 教室)		
	10:10 11:10	三大学連携プログラム 1 「“目的” と “誇り” を持とう」山口県立大学 学長 江里健輔		
	11:20 12:20	三大学連携プログラム 2 「南極から見えてくるもの—南極越冬隊になって」山口東京理科大学助教 浅野 比		
		キャンパス内の移動、昼食・交流(食堂・各教室)、「なんでも相談コーナー」(桜翔館)、注：D 1 5 教室では食事をとることができません。		
	13:40 14:40	講義 I 「日本人の異文化適応力」 国際文化学科准教授 ウィルソン・エイミ	講義 I 「障がい者福祉に取り組んだ人びと」 学部長 加登田恵子	講義 I 「生活習慣と健康—生活習慣を改善すると、本当に健康になれるのか?—」 学部長 長坂祐二
	14:50 15:50	講義 II 「ファースト・ペンギンになってジャンプしよう!」 国際文化学科准教授 浅羽祐樹	講義 II 「障がいって何?—WHO の考え方に学ぶ—」 社会福祉学科准教授 重岡修	講義 II 「健康危機状況にある人への看護とは?」 看護学科講師 田中周平
8 月 10 日 (火)	10:00 11:00	講義 III 「言葉遊びの古今東西」 文化創造学科准教授 木越俊介	講義 III 「社会は障がい者をどのようにみているか—社会と障がい—」 社会福祉学科教授 中村文哉	講義 III 「日本人の健康状況について—その集団指標とは?—」 栄養学科教授 日野精二
	11:10 12:10	講義 IV 「文化をフィールドワークする」 国際文化学科教授 安野早己	実習 「視覚障がい者のための自転車タンデムに乗ろう」 タンデムサークルの学生スタッフ	演習 I 「心の健康—自分の心の様子を見てみよう—」 看護学科教授 中村仁志
		昼食・交流(食堂・各教室)、「なんでも相談コーナー」(桜翔館)、注：D 1 5 教室では食事をとることができません。		
	13:30 14:30	講義 V 「“創造” は想像から始まる—まずは身近な“そうぞう” からはじめてみよう—」 文化創造学科教授 小南英昭	講義 IV 「視覚障がい者の立場から高校生の皆さんへのメッセージ」 非常勤講師 中村實枝	講義 IV 「身体活動と栄養—バランス良く食べて、しっかり運動しよう!—」 栄養学科講師 弘津公子
	14:40 15:40	講義 VI 「教室の中のブンガク」 文化創造学科講師 加藤禎行	演習 「障がい者福祉の知らない福祉社会へ向けて—ふりかえりとまとめ—」 准教授 重岡修	演習 II 「聞いてみたい! 在学生の声」 看護学科講師 森本知佐子
	15:40 16:00	閉講式	閉講式	閉講式